

## 大阪国際児童文学振興財団はどのようにして設立されたのか

### ○旧大阪府立国際児童文学館の開館まで

今回は、当財団の「現在」を考えるために、財団のこれまでの歩みをまとめておきたいと思います。

財団が運営を委託されていた旧大阪府立国際児童文学館(以下、児童文学館)は、1984年にオープンしました。当時、日本近代文学館の開館(1967)を契機として、各地に郷土作家を顕彰する文学館等が相次いで建設され、文学関連資料の収集・整理・保存に関心が向けられていました。加えて、国際児童年(1979)が児童文学、児童文化への社会的関心を高め、同分野が学問的対象となり、研究資料整備の重要性が認識された時期でもありました。

こうしたなか、個人で収集した資料(12万点)をもとに、研究資料館構想を打ち出した鳥越信は、「引き続き収集する」「整理して公開する」を条件に、自身の資料を寄贈する代わりに資料館建設を全国に公募しました。招致合戦の結果、大阪府に決定、吹田市千里万博公園に開館しました。

### ○当財団の創設と機能

施設の運営母体となった財団は、それに先立つ1980年に設立。初代理事長は仏文学者の桑原武夫、第2代理事長は作家の司馬遼太郎が務めました。

児童文学館の機能・使命は、3つあると考えられていました。

第1に、**児童文学の総合的な資料センターとしての機能**です。

かつて子どもの本は消耗品として扱われ、網羅的・体系的な収集はなされてきませんでした。資料なくしては、当時の児童出版文化の実像が掴めず、歴史を通した子どもの本の現在の状況が評価できません。ゆえに、過去に出版されたもの、隣接領域のマンガ等も含めて丁寧な収書を心がけ、資料の保存のために貸出はせず、複写・閲覧に供しました。資料収集にあたっては、設立当初から出版社や個人の方から多大なご支援をいただきました。

次に、**資料を活用した研究機能**です。

児童文学館には、国内でここにしかない資料も多く、研究者・編集者・図書館関係者をはじめとする多くの利用者から様々なレファレンス(利用者相談)が寄せられました。子どもの本や読書に関わる多様な質問に応え、子どもの本の文化の発信の場になるためには、研究に裏付けられた高度な専門性が必要です。財団では資料を活用した児童文学研究を活性化させ、研究紀要に発表。また、より具体的な成果としては、大学や企業、自治体との共同研究を行い、その産物として国内初の子ども向け図書検索システムのモデル開発等を実施しました。

3つめは、**国際交流事業**です。未来を担う子どもたちに国際的な視野を持つてほしい。そのためには、子どもの本を中心に、国際的視野にたった文化交流、研究交流を行うという考えのもと、国際シンポジウム、「国際グリム賞」（金蘭会と共催）の創設や、外国人客員研究員制度などの事業を実施しました。

#### ○施設廃止、資料移転、財団は見直し

しかしながら、2008年に『大阪維新』プログラム（案）で「館は廃止」、資料は2009年度中に「中央図書館へ移転」、「財団は抜本的見直し」となり、多くの方々から反対の声をいただきましたが、翌年2月府議会本会議では資料移転費を含む予算案と廃止条例が可決。その際、「国際児童文学館設立時の趣旨に沿い、引き続き資料を収集、保存、活用すること」「これまで国際児童文学館において培われてきた「子どもの読書支援センター」並びに「児童文化の総合資料センター」としての機能を引継ぐこと」「中央図書館において引き継がれた機能が、府民・利用者に明確に分かるよう区分した対応に努めること」という3つの附帯決議がつけられました。

こうして、大阪府立中央図書館内に新たに「国際児童文学館」という部門ができ、その運営は図書館が行うことになりました。これによって国際児童文学館からはこれまでのような研究機能、国際交流機能が失われることになりました。

そこで、当財団は、国際児童文学館のある、大阪府立中央図書館内に事務所を置き、これまで培ってきた研究機能、国際交流機能を維持して、国際児童文学館を支援することを決断しました。**これまで存在した児童文学館の運営委託費がゼロになったため組織の規模を大幅に縮小し、かつての寄付金を取り崩しながら現在に至っています。**

次号からは、移転してからの財団の事業運営について振り返り、財団の今後について考えたいと思います。

※文中の敬称は省略させていただきました。

2020年6月1日

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 理事 遠藤 純

---

発行：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 <http://www.iiclo.or.jp/>  
〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北 1-2-1 大阪府立中央図書館内  
TEL：06-6744-0581 FAX：06-6744-0582 E-mail：office@iiclo.or.jp

---